

番号 1960

1 前回のリアクションを読んだ感想

普通にくらしていく中で、どんどん電子化・機械化になっていくのを感じて、授業までも電子化になっていくのがおどろきだった。便利だなと思った。今後、自分が教員になっていくのに自分が経験していないことだらけだと思うから、もっと勉強が必要だなと思った。

2 (自分とは違う)「異質な他者」を感じることはありますか。どのような人に感じますか。(いくつかつても)

- 1 年齢、世代の違い 2 異性 3 出身地の違い 4 育ち 5 国の違い
6 人種(肌の色など) 7 性格 8 能力 ⑨ その他(異質と思うことはない)

3 多文化教育的な視点、異文化間的な視点とはどのようなものですか(資料A、B)

多文化社会における教育を考えたとき、その教育観を形成する基本になる理念は多文化主義と呼ばれる。文化的多様性の現実を無批判に受け入れ、異なる民族や文化の理解と尊重のめを強調するアプローチには問題があり、特定の社会の中で主流集団の人種的特権を考慮にいれず多文化理解を促す教育実践を試れば、それは自分とは異なる「他者」について表面的な理解に陥ってしまう。教師は多文化共生社会を創造していく市民を育成するという明確な目標を持つ必要がある。さらに権力関係に起因する矛盾を直視し、社会的公正の視点からすべての民族、文化集団のアイデンティティが等しく最大限に発揮できる多文化社会を築いていく必要がある。

4 あなたが担任の教師だったとして、クラスの中の外国籍の児童に対して、どのような指導や配慮をしますか。(資料B)

外国人の子どもたちは、日本への定住化の傾向にあり、日本語の教育をしっかり保障していく必要がある。また、ダイバーシティという視点を学校教育の中核に据えていくべきだ。ダイバーシティとは、国籍、人種、民族、文化、宗教、障がいなどを理由とする差別がないことはもとより、これらの相違を個性として尊重することである。多様な子どもが共に学び、その多様性を活かす教育を行っていくことで、子どもたちが自信をもち、将来の生活を切り拓いていけるようにする。外国人の子どもたちを弱者として位置づけるのではなく、二つの言語能力をもった存在として積極的に位置づけ、その教育を構想していく。

5 「差別」を見たり、感じたりしたことはありますか(資料D)

- 1 ない ② ある(具体的に ドナルド・トランプの WASP へのこだわり)

6 「青い目、茶色い目—教室は目の色で分けられた」の感想

小さい子どもでも、大人が少しでも誘導すればいくらかでも差別ができて、それを悪いとも思わず、続けることができるのだと思った。今の日本で肌の色、目の色について差別する人はほとんどいないと思っているから、実際目にしたことはない。だから実感はわからないけれど100年もしない前は肌、目、宗教で色々な人が差別され痛い思いをしたのかと思うといとても悲しい気持ちになった。また、それが、この動画のように教師が差別を教えられる立場というのが、怖いなと思った。子ども一人一人をよくみて、みんなを平等に大切に扱って、育てあげることが教師だと思うから、間違ってもそういうことは口に出していけないし、そういう場面を見たならば絶対に止めようと思った。

8 他の人から感想をもらう

(お母さん) → えいねいにがけてるよ。

あはらしいよ。

トランプがこわいよ。

1 前回のリアクションを読んだ感想

皆、字がとても丁寧で簡潔にまとめられていて見やすかった。

授業では、教師の役割、教えるべきではないことを知ることで良かった。

2 (自分とは違う)「異質な他者」を感じることはありますか。どのような人に感じますか。(いくつか)

- 1 年齢、世代の違い 2 異性 ③ 出身地の違い 4 育ち 5 国の違い
6 人種(肌の色など) ⑦ 性格 ⑧ 能力 9 その他()

3 多文化教育的な視点、異文化間的な視点とはどのようなものですか(資料A、B)

多文化教育的な視点…文化を静的にとらえる

主流集団への同化主義に反対し、民族的、あるいは、文化的な多様性を尊重しながら、「多様性のなかの統一」をめざす

異文化的教育的な視点…文化を動的にとらえる

相互作用を通して文化は変わりうるものとしてとらえる

4 あなたが担任の教師だったとして、クラスの中の外国籍の児童に対して、どのような指導や配慮をしますか。(資料B)

課題…子どもたちが自信をもって生活できるようにすること

そのために、日本語の教育をしっかりと保障する。

国籍、人種、民族、文化、宗教などの差別をすることなく、

個性を尊重する。多様性を活かす教育。二つの言語能力をもった存在として積極的に位置づけ

生徒の実態に応じた
指導内容や指導方法の工夫
→ 計画的に行う
(この先日本に残るかや帰国のか)

5 「差別」を見たり、感じたりしたことはありますか(資料D)

- 1 ない ② ある(具体的に

6 「青い目、茶色い目一教室は目の色で分けられた」の感想

優しかった子どもたちが、たった数分で人格が変わってしまい、

差別される側の子は、何に対してもやる気がなくなり、

問題を解くスピードも遅くなった。この映像を見て、先生の言葉には、とても大きな力があるんだと感じた。そして、実験を通して差別されることで、痛みや苦しさを感じ、差別はいけないことだと学ぶ。

このことから、痛みを感じることでしか相手を理解することができないのだと思った。

優劣をつけることはそう簡単にしてはいけなさと改めて思った。

そして、教師の言葉は、子ども達にとって大きな影響力があることを知り、

教師になったときは、その責任を常にもっていなければいけないと思った。

8 他の人から感想をもらう

(ヒナ) →

DVDの感想がすごく良かったぞ。

外国籍児童への配慮、指導もすごく良いぞ。